

= 業界情報 =

全国の整備相談所に寄せられた整備相談事例 Vol.90

【内容】エンジンオイルを規定量以上入れられた

- ・車名：軽自動車
- ・登録年月：平成30年
- ・走行距離：1,000km
- ・相談日 平成30年11月27日

11月11日、カー用品店（会員工場）でエンジンオイルを購入し、交換した。交換の様子をピットへ見に行くと上抜きしていたため、下抜きでお願いした。交換後に余ったオイルをどうするか聞かれなかつたのでレベルゲージを確認すると入れ過ぎていたため担当者に伝えると、「お前はどこを見よんや」と暴言を吐かれた。オイルは抜いて貰えたが、謝罪もピットを出る時の誘導も無かつた。

帰宅後、オイルの量を確認すると、まだレベルゲージの規定量を1cm上回っていたので、翌日、カー用品店に連絡し自走が不安なのでレッカーで引き取りに来るよう指示した。オイル交換が終わり、故障箇所が無いかディーラーで診断するよう依頼し、故障時の対応について店長に聞くと、「オーバーホールかエンジンを載せ替える」と言われた。

後日、ディーラーに行き診断して貰うため、代車の手配をカー用品店に要請した。診断当日、手配できたか確認すると手配されておらず、手配すると嘘を言われた。結局ディーラーで代車が準備されたと思われるが、午後3時に入店し午後8時に診断が終了したため代車は使用しなかつた。診断結果で不具合も見られなかつた。

その後、数日たってもカー用品店から何の連絡もないため、同店の本部とエリア担当に苦情を告げた。カー用品店の店長自ら「オーバーホールかエンジンを載せ替える」と言ったが、未だに実行されない。振興会から早急に対応するよう連絡して欲しい。

【対応】

カー用品店の店長に相談内容を伝えると、これまで数回電話したが出て貰えず、こちらもどう対処したらいいか困っている。「オーバーホールかエンジンを載せ替える」と言ったのは軽率だったが、あくまで現状不具合が生じている場合の話であることを伝えたが理解して貰えない。

また、代車も当社が準備したものだったが、連絡があった時には準備できておらず、予定が午後3時だったため、それまでに準備するつもりだったことを話す前に電話を切られた。相談者は肝心な話や自分に不都合な話になると電話を切り、その後は掛け直しても電話に出て貰えない。当社としてもこれ以上、対応するつもりはない。

相談者には店側の考えを話し、『今現在、車に不具合がないのであれば、当会もこれ以上対処はできない』ということを伝えたが、全て話し終わる前に電話を切られた。

エレメント交換型エンジンオイルフィルタ採用のエンジン搭載車 オイルフィルタ交換作業時のシール用Oリング取付に関する注意

トヨタ自動車株式会社

当該エレメント交換型エンジンオイルフィルタ（以下オイルフィルタ）の交換作業時の注意事項についてご連絡していますが、掲載後もオイルフィルタのシール用Oリング（以下Oリング）が誤った位置に組付けられた事例があることから、確実な作業の実施を再度お願いするものです。

オイルフィルタの交換作業の際、オイルフィルタのOリングを下図の誤った位置に取付けると、Oリング部から漏れたエンジンオイルが排気管に付着して、「火災・発煙」に至るおそれがあります。

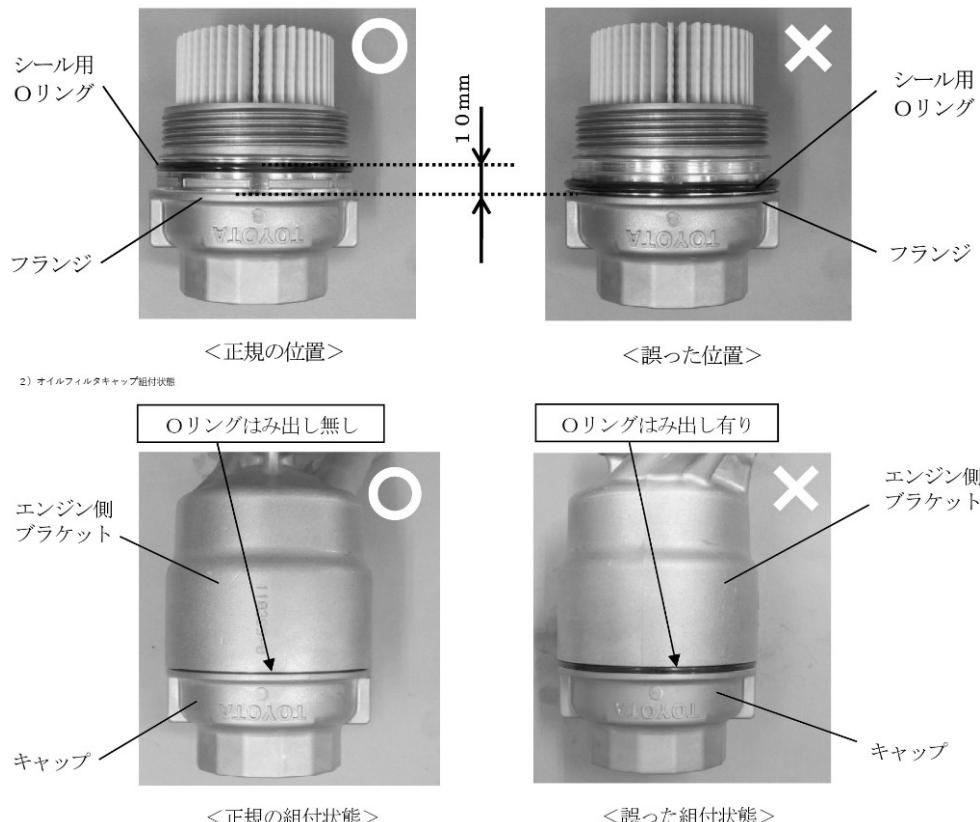
つきましては、オイルフィルタの交換作業時には、補給品箱のOリング取付け状態のイラストおよび同梱の作業要領書をよくお読みの上、Oリング取付け位置に留意し、確実な作業の実施をお願いいたします。

■対象車両

エレメント交換型エンジンオイルフィルタ採用エンジン 全車種

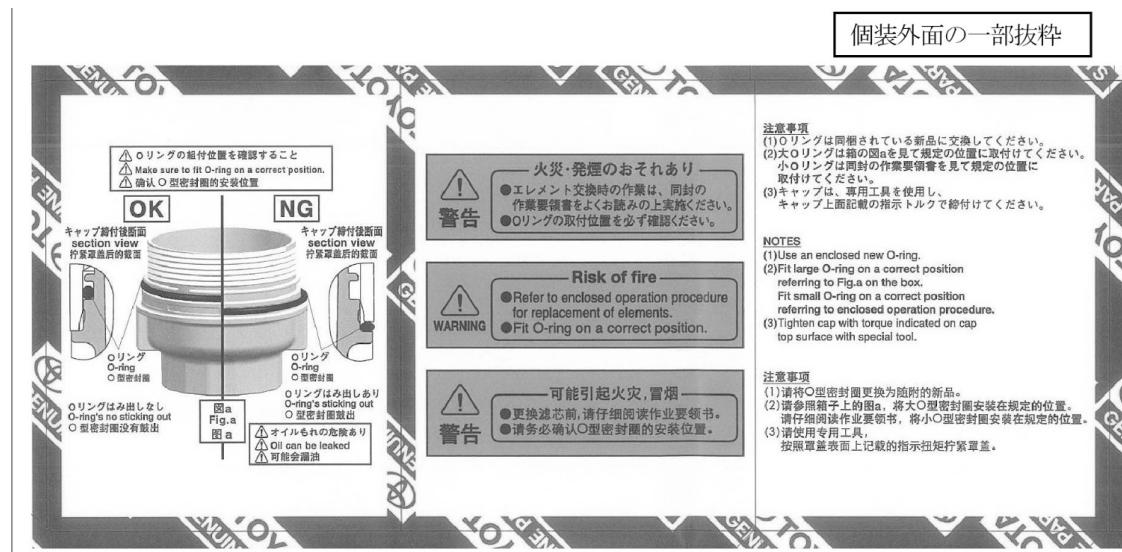
■オイルフィルタ交換作業時の注意点

1) Oリング取付位置



■補給品箱の個装外面

個装外面には、警告「火災・発煙のおそれあり。エレメント交換時の作業は、同梱の作業要領書をよくお読みの上実施ください。○リングの取付位置を必ず確認ください。」を追加して、作業者の方に注意喚起を行っております。



■作業要領書

作業要領書には、警告「火災・発煙のおそれあり。○リングの取付位置を必ず確認ください。」を追加して、作業者の方に注意喚起を行っております。

なお、作業要領書は、補給品箱内に同梱されていますので、作業前に必ず確認をお願いします。

作業要領書の一部抜粋

作業要領書[下向搭載車用(オイル排出ボルト有り)] Operation procedure [Vertical mounting (with Bolt for drain)] 作業要領書[纵向搭载车用(有排油螺栓)]

取外し方法

- ボルト①を外し(図1)、オイル排出用パイプ②を差し込んで、オイルを排出する。(図2)
 (1)パイプの先端にホース等を装着すると、オイル受け皿等に排出し易くなります。
 (2)キャップ及びオイルが熱くなっていますので、十分注意して作業を行ってください。
- パイプ②を、横に折り曲げるよう外す。(小Oリング⑦はパイプについて外れます。)(図3)
- 小Oリング⑦が溝部④に残っていない事を確認する。(図3)
- キャップ④を専用工具③で外す。外した後、キャップ内の残留オイルを排出する。(図4)
- キャップ④から、エレメント⑥及び大Oリング⑤を外す。(図5)
 (Oリング取外しの際、溝部④を傷付けないよう手で外してください。)

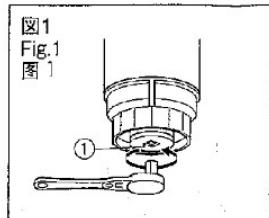
取付け方法

- キャップ側を清掃する。清掃部位は、エレメントシール部⑨、ねじ部⑩、溝部⑪、フランジ面⑫、溝部⑬。(図6)
 その後、ねじれが無いように溝部⑪に取付ける。(図7)(図8)
 (Oリング組付位置は必ず個装箱外面の注意事項を確認してください。)
- キャップ④に新品のエレメント⑥を取付ける。(図7)
- エンジン側の取付部を清掃する。清掃部位は、エレメントシール部⑨、ねじ部⑩、大Oリング当たり面⑪、フランジ面⑫。(図9)
- 再度、大Oリング⑤の外周にエンジンオイルを塗布してから、手でキャップ④を仮締めする。
 その後、専用工具③を用いて、キャップ上面記載の指示トルクで締付ける。(図10)
- エンジンオイルを新品の小Oリング⑦の全周に塗布してから、ねじれ無いように溝部⑪に取付ける。(図11)
- ボルト①を $12.5 \pm 2.5 \text{ N}\cdot\text{m}$ にて締付ける。(図12)
- キャップ側フランジ面⑫とエンジン側フランジ面⑪に隙間無き事、また大Oリング⑤のはみ出しが無い事を確認する。(図11)
- オイル注入後、エンジンを始動して、オイルもれが無い事を確認する。

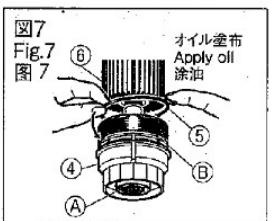
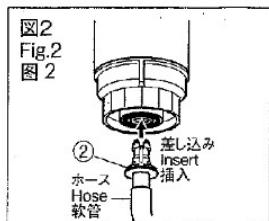
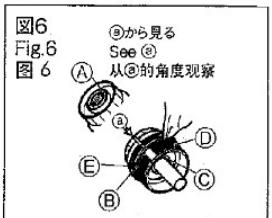


取外し方法

Removal procedure 拆取方法



取付け方法 Installation procedure 安装方法





「ものづくり体験教室」

参加無料!

ものづくりに親しんでいただくため、各科の体験教室を開催します。

○自動車整備科

- ・ドライブ・ゲーム・ヴィッツ体験
- ・ピット・クルーアクティビティ
- ・レース・ラジコン体験



○電気システム科

- ・とっても冷たい発電体験
- ・ドローン体験

○造園科

- ・たけうま体験

○服飾科

- ・トート・バック制作

「模擬店」

各科による模擬店を開店します!!



「オープンキャンパス」

(入校希望者対象)

☆受付：10:00～随時

☆開始 10:30～開催



「峠南モーターショー」

珍しい車・かっこいい車を展示します!!



皆さんのお越しをお待ちしております。

山梨県立峠南高等技術専門校

〒400-0501

山梨県南巨摩郡富士川町青柳町3492

TEL(0556)22-3171

FAX(0556)22-3172

E-mail kgisen-kn@pref.yamanashi.lg.jp



詳しくは
HPをご覧下さい。



今月の配布物について

○「衝突安全性能評価」「予防安全性能評価」の配布について

独立行政法人自動車事故対策機構（N A S V A）では、国土交通省の指導のもと、自動車ユーザーに安全意識を高め、より安全な自動車の普及を図るため、自動車アセスメント情報を公表しております。

本年度につきましても、当会に「衝突安全性能評価」及び「予防安全性能評価」が届きましたので、配布します。

- ・パンフレット 各工場1冊ずつ



○「自動車点検整備推進運動のポスター・チラシ」「大型車の火災・車輪脱落・車体腐食防止対策チラシ」の配布について

国土交通省では自動車点検整備推進運動のポスター及びチラシ、大型車の火災・車輪脱落・車体腐食を防止するために必要な点検・整備を啓発するためのチラシを作成しました。

会員の皆様に配布いたしますので、各事業所におかれましても掲示等していただき、ご活用下さい。

- ・自動車点検整備推進運動のポスター及びチラシ 各工場1枚ずつ
- ・大型車の火災・車輪脱落・車体腐食防止対策チラシ 各工場1枚

